

自平成 23 年 4 月 1 日  
至平成 24 年 3 月 31 日

## 平成 23 年度事業報告書

公益財団法人 MR 認定センター

# 平成23年度事業報告書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

## 1. 公益財団法人への移行

平成23年3月25日に内閣総理大臣より認定書の交付を受けて、4月1日付にて公益財団法人MR認定センターの名称で移行登記を行い公益財団に移行した。

## 2. 平成23年度の事業の実施

平成23年度の事業は、3月30日に開催された財団法人医薬情報担当者教育センターの第28回評議員会及び第47回理事会において承認を得た「平成23年度事業計画」に基づき実施した。

## 3. 理事・監事・評議員

### 1) 理事の変更

・6月6日に開催された第1回評議員会において、上田慶二理事が辞任し、その後の理事に畠清彦氏が選任された。新たな理事として小清水敏昌氏が選任された。任期は、定款第33条により、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとなる。

### 2) 理事会及び評議員会の開催

#### (1) 理事会

第1回 5月31日(火)(於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム)

- ① 「公益財団法人MR認定センター定款」「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定」を改めて確認し、「公益財団法人MR認定センター経理規定」を現財団にて新たに決議した。
- ② 上田慶二理事の辞任による後任候補に畠清彦氏、新たな理事候補に小清水敏昌氏を推薦した。
- ③ 定款に基づき、6月6日に第1回評議員会の招集を決議した。
- ④ 顧問として平林敏彦氏に委嘱することを承認した。
- ⑤ その他事項について報告した。

第2回 6月23日(木)(定款第45条の規定による決議の省略の方法により決議)

- ① 業務執行理事(専務理事)として小清水敏昌氏を選定した。

第3回 平成24年1月19日(木)(於:「東京會館 LEVEL XXI」ゴールドルーム)

- ① 第18回MR認定試験の結果を承認した。
- ② 新制度移行に伴う不合格者の経過措置について承認した。
- ③ 第19回MR認定試験について承認した。
- ④ 合格点の公表などに関して検討委員会で検討することを承認した。
- ⑤ その他事項について報告した。

第4回 平成24年3月21日(木)(於:「東京會館 LEVEL XXI」ゴールドルーム)

- ① 平成24年度事業計画(案)を承認した。
- ② 平成24年度収支予算(案)を承認した。
- ③ 理事長及び専務理事より業務の執行状況について報告した。

(2)評議員会

第1回 6月6日(月)(於:「東京會館 LEVEL XXI」オリオンルーム)

- ① 「公益財団法人MR認定センター定款」「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定」を改めて確認し、「公益財団法人MR認定センター経理規定」を現財団にて新たに承認した。
- ② 上田慶二理事の辞任による後任に畠清彦氏、新たな理事に小清水敏昌氏を選任した。
- ③ その他事項について報告した。

4. MR認定試験の実施及び認定に関する事業(定款第4条第1号関係)

1) 第18回MR認定試験の実施

(1) 試験実施のため、人材派遣会社社員及び試験会場の大学アルバイト総計287名に試験監督員を委嘱し、これら監督員に試験当日の会場設営と当日の試験監督を依頼した。

- ① 試験日時 12月11日(日)午前9時より午後5時15分まで
- ② 試験地 東京、大阪の2地区2会場  
学習院大学、大阪工業大学の2大学を借用し、試験会場とした。
- ③ 受験者数

	人数
新規受験者	4,916名
再受験者	876名
受験者計	5,792名
受験申請者数	5,911名

なお、新規受験者は、2011年度導入教育修了者が中心であり、昨年より731名増えた。

(2) 試験委員会の開催

第22回運営委員会 9月13日

- ① 第18回MR認定試験問題等について検討した。

第 24回試験委員会 平成24年1月11日

- ① 第18回MR認定試験受験者に対する合否についての判定を行った。

(3) 合否の判定

平成24年1月19日開催の第3回理事会で承認を受けた後、1月25日付で受験者に試験結果を通知した。

	合格者数	合格率
新規受験者	4,031名	82.0%
再受験者	595名	67.9%
合計	4,626名	79.9%

(4) 合格基準の公表

前回に引き続き、合格基準及び正答を公表した。

2) MR認定制度移行に伴う再受験者の経過措置の実施

平成24年度に実施する第19回MR認定試験から、受験科目が3科目(現行の6科目を一部統合)となるため、現行試験で不合格になった科目の経過措置を行い、平成24年3月26日に通知した。

(1) 対象者

MR認定試験の不合格者の内、初回の結果通知から5年以内の者\*で(\*平成19年12月に実施の第14回MR認定試験以降の試験を初回受験した者)科目統合を行った医薬品情報(薬理学、薬剤学、添付文書)又は医薬概論(医薬概論、PMS)の各グループに、一部不合格の科目がある者。

但し、統合科目の各グループの全ての科目が不合格の者は対象にならない。

(2) 経過措置の内容

統合対象科目について、過去の試験結果を再評価し基準に達していれば新試験科目で合格したとみなす。

(3) 経過措置の結果

- ① 経過措置該当者数:1,238名

・「医薬品情報」の経過措置該当者数:740名

経過措置適用による合格者数:429名(58.0%)

・「医薬概論」の経過措置該当者数:523名

経過措置適用による合格者数:313名(59.8%)

- ② 経過措置により、全科目が合格となった人数:360名(29.1%)

#### (4) 対象者への連絡

- ① 所属企業を経由して3月26日に宅配便で送付した。
- ② 企業を離職している者へは、自宅住所がわかる場合には直接送付した。  
なお、当センターのホームページに経過措置を実施した旨を掲示し、離職者からの照会に対応している。

#### 3) 第19回MR認定試験の準備

第19回試験は平成24年12月9日とし、実施に向けて準備に入った。

- (1) 第19回試験案内を平成24年3月28日付で各企業に通知した。
- (2) 試験会場として学習院大学、大阪工業大学から借用できる内諾を得た。

#### 4) MR認定証の発行及び管理

- (1) 第18回MR認定試験合格者への認定証は、申請のあった2,190名(申請率47.3%)に対し、平成24年3月31日までに順次発送した。  
また、企業の合併やMRの企業間移動及び認定証の棄損・亡失などの理由により再交付した認定証は、204枚であった。
- (2) 不合格者に対しては、再受験科目の管理を行った。

#### 4) MR認定証の有効期限が平成24年1月末日と平成23年1月末日(救済者)の認定更新手続き

##### (1) MR認定証の更新

6,071名のMRから認定更新の申請があり、承認した。

##### (2) 登録の更新・管理のためのシステムの運用

登録更新には5年間の教育研修修了認定が必須のため、MR認定証更新に関する認定研修のデータを具備した「MR教育・試験管理システム(MRO)」を運用し、認定した。

##### (3) MR認定証更新に伴う補完教育

- ① 補完教育は、慶応義塾大学薬学部に業務委託して実施した。

- ② 平成23年度補完教育通信講座の受講

MR認定証の有効期限が平成24年1月末日で、更新に必要な認定研修を充足できず認定証の更新を希望する者と、有効期限が平成23年1月末日で平成22年度の補完教育を受講しなかったもの(救済者)計916名が受講した。

- ③ 補完教育を実施後、委託機関である慶応義塾大学薬学部生涯学習センターでの採点結果を参考に、事務局にて合否判定業務を行った。その結果は第37回教育研修委員会(平成24年2月14日開催)に報告した。修了認定された者は、864名であった。

- ④ 2012年度補完教育のIT化の準備

補完教育に関して、慶応義塾大学薬学部との業務委託契約が満了となった。

新たに、補完教育をCBTで実施するための搭載問題作成、監修業務を北里大学薬学部に依頼。業務委託契約を締結した。新MRテキストの完成後、作問要領を提示した。初年度(2012年度)分の問題として900問を受領し、CBT搭載候補問題を精査した。

## 5. MRに対する教育研修に関する事業(定款第4条第2号関係)

### 1) 教育研修委員会

#### 第35回委員会(7月21日開催)

- (1) MR教育研修要綱改定について検討を行った。
  - ・主な変更点・追加点は、2008年度要綱と2012年度要綱(案)を比較し承認した。
- (2) 補完教育(IT方式)に対するパイロットの検証内容について承認した。
- (3) 2010年度教育研修認定状況及び教育研修施設の受託教育の報告を行った。
- (4) MR100周年事業の「MR100年史」の目次(案)について報告を行った。
- (5) 新MRテキスト監修の為の第二校の校閲について報告を行った。

#### 第36回委員会(9月15日開催)

- (1) 補完教育(IT方式)のパイロットの結果報告を承認した。
- (2) 補完教育(用紙方式)について承認した。
- (3) 教育研修委員会の専門部会として「補完教育小委員会」設置について検討し承認した。
- (4) 薬系大学の学生の大学内での導入教育「基礎教育」の受講について検討した。
  - ・時期尚早とのことで見送ることとした。
- (5) 新テキスト監修について、教育研修委員会として監修を了承した。
- (6) MR100周年事業について報告を行った。

#### 第37回委員会(平成24年2月14日開催)

- (1) 2011年度補完教育通信講座の結果について承認した。
- (2) 補完教育小委員会の概要について報告した。
- (3) 補完教育(IT方式)実施概要(案)について承認した。
- (4) 補完教育(用紙方式)実施概要(案)について承認した。
- (5) 第18回MR認定試験の結果報告を行った。
- (6) MR100周年記念事業について報告を行った。
- (7) 中期計画の概要(案)について報告を行った。

#### 第1回補完教育小委員会(平成24年1月31日)

- (1) 委員及び委員長の選任を行った。
- (2) 補完教育(IT方式)実施概要(案)について検討した。
- (3) 補完教育(用紙方式)実施概要(案)について検討した。

## 2) 教育研修システムの運用

### (1) 教育研修に関する認定

「MR教育・試験管理システム」を運用し、教育研修履修の認定を行った。

- ① 教育研修計画書及び実施報告書の企業からの申請に基づき審査を行い、各MRの教育研修履修認定を行った。

	企業数	申請教育研修数	教育研修対象者数
導入教育計画認定	139社	325件	5,413名
同実施報告認定	139社	324件	4,777名
継続教育計画認定	203社	959件	78,145名
同実施報告認定	203社	947件	71,945名

- ② 新規に教育研修を開始する企業及び合併する企業に関して申請に基づき、教育研修システムの認定を6社行った。一方、業務廃止に伴い1社の登録を抹消した。
- ③ 教育研修を受託する教育研修施設は、15社である。
- ④ 計画書の遅延や申請を失念した企業に対して「教育研修認定に関する指導基準」に基づき、改善指導を行った。

・注意 16件

内容: 計画書の申請遅延、対象者の申告漏れ。

措置: 口頭にて注意し、一部顛末書の提出を求めた。

・指導 7件

内容: 2006年度継続教育計画申請を失念した。

: 2008年度継続教育計画申請を失念した。

措置: 対象者の履修証明記録、顛末書の提出を求め、教育研修に関する管理体制を見直し、再構築するよう指導した。

- (2) 各企業からの教育研修に関する相談について、助言・指導を行った。

## 3) 教育研修管理者講習会の開催

### (1) 教育研修管理者認定更新講習会

教育研修管理者は、1年毎の認定更新を必要とする。東京と大阪の2会場に分けて開催した。

① 開催日及び場所

10月19日(水) 東京: 東京コンファレンスセンター・品川

10月26日(水) 大阪: 薬業年金会館

② プログラム

12:45～12:55	挨拶 専務理事 小清水敏昌
12:55～13:45	MR教育研修制度について MR教育研修要綱の改定について 教育研修部長 松本悦子
13:55～14:50	事例発表 「わが社の目指すMRを育成するために」 東京会場:アステラス製薬(株) 医薬研修部 半田正文 大阪会場:沢井製薬(株) 学術部長 田中慎二 司会 事務局長 水野能文
15:10～15:45	MR100周年記念行事について 2011年版MR白書について 企画部長 大屋博道
15:45～16:20	第18回MR認定試験について 補完教育について 試験事業部長 後藤守男
16:30～17:15	新MRテキストについて 質疑応答 諸連絡 総務部長 近澤洋平

③ 受講者数

	東京	大阪
管理者	154名	59名
オブザーバー	60名	13名
来賓	3名	2名
合計	217名	74名

新しく刊行されたMRテキストを配布した

(2) 教育研修管理者認定講習会

各企業に1名の必置を義務付けており、新たに教育研修管理者となる者のための講習会を行った。

① 教育研修管理者認定講習会の実施および認定状況

イ. 会場 東京薬事協会・会議室

ロ. 内容 MR認定センター職員による教育研修要綱等の解説

ハ. 実施および認定状況



開催日	教育研修 管理者予定者数	再試問 対象者数	教育研修 管理者認定者数
4月13日(水)	16名	1名	16名
7月13日(水)	15名	1名	15名
10月3日(月)	20名	1名	20名
平成24年2月28日(火)	17名	2名	15名
計	68名	5名	66名

## ② 試問

イ. 実施方法 本年度よりCBT(Webを使ったテスト)

ロ. 出題形式と判定基準

問題		判定
正誤	40問	正答率90%以上で合格とし、合格するまで実施
穴埋め	10問	
小論文	1問	5段階評価(A B <sup>+</sup> B B <sup>-</sup> C)を行い、B <sup>-</sup> C は不合格とする

不合格者(小論文)1名には再試問を行った。辞退者が2名いたため、合計66名を認定した。

## 4) インストラクター支援講習会の開催

### (1) インストラクター研修会

#### ① 開催内容

会場	東京 (アイビーホール)	大阪 (メルパルク大阪)
日程	5月19日(木)～20日(金)	10月24(月)～25日(火)
	平成24年2月23日(木)～24日(金)	
対象	インストラクター経験の浅い(1年以内)MR研修担当者	
講師	(株)話し方研究所、戸田久実氏	
内容	インストラクターの基本スキルとマインドを学ぶ	

#### ② 参加者

企業数	参加者数	(東京)	(大阪)
35社	73名	53名	20名

### (2) 実践インストラクションスキル研修会

#### ① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)
日程	平成24年 3月8日(木)～9日(金)
対象	インストラクションを経験したトレーナー
講師	MR認定センター 総務部長 近澤洋平
内容	自信と誇りを持ち、インストラクターとしての価値を高めるきっかけをつくる受講者参加型の研修

② 参加者

企業数	参加者数	(東京)
11社	17名	17名

(3) ファシリテーション研修会

① 開催内容

会場	東京(アイビーホール)	大阪(メルパルク大阪)
日程	7月28日(木)	平成24年3月16日(金)
対象	研修会を効果的に進めたいインストラクター	
講師	PHP研究所 今村恵理氏	
内容	研修ファシリテーションスキルを修得し、効果的な研修を実現する	

② 参加者

企業数	参加者数
15社	24名

(4) モチベーションアップ研修会

① 開催内容

会場	東京(ホテル銀座ラフィナート)	大阪(メルパルク大阪)
日程	7月20日(水)～21日(木)	平成24年 1月19日(木)～20日(金)
対象	仕事を主体的に取り組みたいと考えている担当者	
講師	ヒューマン・エデュケア 津村英作氏	
内容	(ビガーゲーム)モチベーションを高める9つの要素 自分の中の軸を再確認し、仕事への意義や役割を検証する	

② 参加者

企業数	参加者数	(東京)	(大阪)
12社	17名	17名	0名

大阪会場は申し込み者数が5名以下となったため、中止した。

(5) 教育研修セミナー

① 開催日及び場所

9月22日(木) アイビーホール

② プログラム

9:00～15:00	臨床 いのちの講座 株ライフクリエイト 鈴木中人氏
15:15～16:45	今後の倫理教育のあり方を考える MR認定センター 近澤洋平

③ 参加者

企業数	参加者数
26社	34名

登録企業以外の大学病院看護師、金融系企業からの参加者があった。

(6) トレーナーズ・セミナー入門コース

① 開催内容

会場	東京(アルカディア市ヶ谷)	大阪(メルパルク大阪)
日程	10月20日(木) 11月10日(木)	10月27日(木)
対象	新たにMR教育研修トレーナーになった者と教育について基礎から学びたい者。	
講師	(株)サンライトヒューマン代表取締役社長 森田晃子氏	
内容	トレーナー入門者が、効果的なMR教育についての基礎を学び、自社の教育に応用できるようになる。	

② 参加者

企業数	参加者数	東京	大阪
30社	53名	41名	12名

(7) トレーナーズ・セミナー基礎コース

① 開催内容

地区	東京(セミナーハウス フォーリッジ)
日程	10月13日(木)～14日(金)
	12月15日(木)～16日(金)
	平成24年1月19日(木)～20日(金)
対象	MR教育研修インストラクター

ファシリテーター	(株)サンライトヒューマン代表取締役社長 森田晃子氏
内容	MR教育について、効果的・効率的な教育理論の基礎について理解を深める参加者主体型のセミナー

② 参加者

企業数	参加者数
24社	54名

(8) トレーナーズ・セミナー応用コース

① 開催内容

地区	横浜(オンワード総合研究所)
日程	平成24年2月23日(木)～24日(金)
対象	MR教育研修インストラクター
アドバイザー	国立大学法人熊本大学教授 鈴木克明 先生 (株)サンライトヒューマン代表取締役社長 森田晃子氏
内容	企業におけるMRトレーナーの資質向上を目指してMR教育の手法やカリキュラムなどの質を向上させるための研究会方式のセミナー

② 参加者

企業数	参加者数
17社	41名

6. MRの資質向上等に関する調査研究事業(定款第4条第1号関係)

1) 調査活動

(1) MRの実態及び教育研修の現状に関する調査

センター登録 205 社に対し平成 23 年 3 月 31 日時点でのMRの実態及び教育研修の現状についてアンケート調査を行い、「MR白書」(2011 年版)としてとりまとめた。

7. 出版物の頒布に関する事業(定款第4条第3号関係)

1) MRテキストの頒布

(1) 価格の設定

書籍名	本体価格	税込み
MRテキストⅠ 医薬品情報2012	1,500円	1,575円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(基礎)	1,800円	1,890円
MRテキストⅡ 疾病と治療2012(臨床)	2,100円	2,205円
MRテキストⅢ 医薬概論2012	1,800円	1,890円

(2) 教育研修管理者への配布

10月の教育研修管理者認定更新講習会にて参加者に配布した。

(3) 著作物利用申請方法の確立

MRテキストおよびMR認定試験問題の複製・翻案する際の利用料率を変更し、申請方法を統一した。

著作物	変更前	変更後	
	利用	複製	翻案
MRテキスト	7%	24%	12%
MR認定試験問題	7%	12%	—

(4) 著作権説明会の実施

MRテキストの複製・翻案についての留意点、著作物利用料に関する説明会を実施した(10月21日開催:参加者16社35名)。

2) 出版物の刊行および頒布

(1) MR研修テキスト2006年版

MR研修テキストⅠ,Ⅱ,Ⅲ2006年版を12月末日まで頒布した。

書籍名	頒布部数
MR研修テキストⅠ 2006年版	2,246部
MR研修テキストⅡ 2006年版	2,277部
MR研修テキストⅢ 2006年版 三訂版	2,643部

(2) 新テキスト

新しいMRテキストを10月より頒布した。

書籍名	頒布部数
MRテキストⅠ 医薬品情報 2012	11,378部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(基礎)	13,197部
MRテキストⅡ 疾病と治療 2012(臨床)	13,240部
MRテキストⅢ 医薬概論 2012	11,693部

(3) その他の冊子

以下の冊子を作成、頒布した。

- ・MR教育研修要綱解説書(2011年10月)
- ・2011年版MR白書—MRの事態および教育研修の変動—

8. 広報活動(定款第4条第1号関係)

1) 第14回センター・ミーティングの開催

開催日:東京会場 平成24年2月16日(木)

大阪会場 平成24年2月21日(火)

場 所:東京会場 アルカディア市ヶ谷

大阪会場 薬業年金会館

MR認定試験制度に関して、①合否判定の考え方、②新制度移行に伴う不合格科目の経過措置、③2012年度からのMR認定試験等について意見を交わした。

教育研修制度に関しては、①2012年度からの教育研修制度、②2012年度からの補完教育等について、意見を交わした。

MR100周年記念事業について協力を求めた。

## 2)薬科大学での講義

薬剤師のMRに占める割合が年々減少してきていることから、薬科大学で「MRと製薬企業」について講義を行った。

5月14日(土) 城西大学薬学部

## 3)第132回日本薬学会年会に出展

平成24年3月28日～31日に札幌(会場:北海道大学体育館ほか)で開催された、第132回日本薬学会年会において当センターとして初のブースを出し、薬系大学教員や医療関係者にMR職などを紹介した。

## 4)教育研修責任者会議の開催

開催日:7月6日(水)

場所:東京カンファレンスセンター

・教育研修責任者152名参加。「MR教育の歴史と今後」について意見を交わした。

・MR100周年記念事業への協力を求めた。

・石見洋氏(メドピア株式会社社長、医師、医学博士)による講演  
「インターネットを通じた医師とMRの新しい関係」

## 5)MR誕生100周年記念事業

(1)MR100年史掲載のための「女性MR座談会」を行った。

開催日:7月12日(火)

場所:ビジョンセンター日本橋

参加者:野田尚子(元塩野義製薬株式会社)

岡村和江(ノバルティスファーマ株式会社)

小西薫(ファイザー株式会社)

大谷美貴子(協和発酵キリン株式会社)

司会:水野能文(事務局長)

(2)ポスター配布(MR100周年記念、MRによる献血の推進)

(3)センターHPにMR100周年記念Webサイト掲載

(4)センターHP掲載用、MR向けビデオメッセージの収録、掲載。

参加者:寺本民生(帝京大学医学部 医学部長・内科教授)

中田 良(日本赤十字社医療センター消化器内科部長)

飯野靖彦(日本医科大学第2内科教授・腎臓内科部長)  
菅原正弘(医療法人社団弘健会菅原医院院長)  
林 昌洋(虎の門病院薬剤部長)

(5) まんが「MR物語」発行(4万部)

MRを介して医療機関へ配布。登録企業へ送付。  
関係諸団体及び全国大学、全国図書館へ送付。

(6) MR100周年広告の新聞掲載

平成24年1月25日 読売新聞全国版(全5段)

平成24年1月26日 西日本新聞 (全5段)

## 9. 委員会の開催

1) 試験委員会

(p3を参照)

2) 教育研修委員会

(p5を参照)

3) 補完教育小委員会

(p5を参照)

4) 新制度実務委員会

「MR認定試験制度検討委員会」報告書(2011年4月)での提言において試験委員会に検討を付託された事項について、「新制度実務委員会」を組織し、取りまとめた結果を試験委員会に答申した。

(1) 付託事項

- ① 出題数は、各科目の履修標準時間比率やコアカリキュラムの到達目標数の比率を勘案して検討する。「疾病と治療」の問題数については、その比率を下げる。
- ② 試験時間は、科目別の出題数を基に試験委員会で検討する。
- ③ テキストの完成後に、試験委員会において試験の範囲とレベルを再確認する。

(2) 委員構成

委員長 手島邦和 (医薬概論・PMS担当幹事委員)

田中 光 (薬理学担当幹事委員)

照井 康仁 (疾病と治療担当幹事委員)

古澤 康秀 (医薬概論・PMS担当委員)

(3) 7月28日に委員会を開催し、暫定案を9月13日の運営委員会に答申。

テキスト完成版の内容確認後、修正案を平成24年1月11日の試験委員会に最

終答申した。

#### (4) 取りまとめ事項

##### ① 出題数

出題総数 270問

科目別出題数および問題形式別出題数

「医薬品情報」80問(正誤20、三択50、五択10)

「疾病と治療」110問(正誤40、三択60、五択10)(基礎60:臨50)

「医薬概論」80問(正誤20、三択50、五択10)

(参考)	問題数	正誤	三択	五択	枝問数	正誤	三択	五択
医薬品情報	80	20	50	10	220	20	150	50
疾病と治療	110	40	60	10	270	40	180	50
医薬概論	80	20	50	10	220	20	150	50
合計	270	80	160	30	710	80	480	150
	87.9%	←(現行の307問に対し)			100.4%	←(現行の707枝に対し)		

##### ② 配点

・1問あたりの配点

正誤:2点 三択:3点 五択:4点

・科目ごとの合計点

「医薬品情報」80問(正誤20、三択50、五択10):230点

「疾病と治療」110問(正誤40、三択60、五択10):300点

「医薬概論」80問(正誤20、三択50、五択10):230点

##### ③ 試験時間

・総時間数 270分(4時間30分)

「医薬品情報」80問:80分

「疾病と治療」110問:110分

「医薬概論」80問:80分

##### ④ 今後の課題

必須問題の導入の可否を検討するため、新制度試験施行後の数年間の問題を蓄積、分析し、試験制度の見直しの際の基礎資料とする。

以上